

山形新聞2014年2月20日に掲載!

6月15日、トレイルランニング大会



蔵王 全国のランナーにPR

緑まぶしい初夏の山形市蔵王温泉スキー場を舞台にした初の山岳マラソン「ヒュッテ・ヤレン杯蔵王温泉国際トレイルランニング大会」が6月15日に開かれる。スポーツイベントなどを通じた地域活性化を後押しする東京都内のNPO法人が企画し、広く参加者を募集している。地元関係者は全国各地の市民ランナーに蔵王を売り込む好機ととらえ、期待を寄せている。

企画したのはNPO法人として蔵王に愛着がある。「元気・まちネット」(矢口 方、日本国憲法の草案作成に正武代表)。戸沢村出身の矢 携わった白洲次郎が蔵王に建口代表は以前からスキーヤー った山荘の修復事業に「まち

ネット」として取り組むなど縁がある。矢口代表は「地域を元気にする上で、集客力のあるスポーツイベントは効果が高い」と説明。これまでに長野県の北アルプス山麓などでアウトドアスポーツ事業を手掛けた実績がある。大会名に旧白洲山荘「ヒュッテ・ヤレン」の名称を冠し、蔵王に新たなス

標高差1000mの25キロコースなど3クラス

トリー性を持たせる狙いもある。

大会は3クラスを設定。個人の部は、標高差千メートルを体感する約25キロのコースで、募集定員は300人。既に130人ほどが申し込み済みで県外者が多いという。参加費は8千円(今月中の申し込みは7千円)。ほかに1チーム3人で15キロを走るリレーの部、親子で一緒に5キロを走る親子の部を用意する。それぞれ参加費は、リレーが1チームで1万8千円(同1万7500円)、親子ペアで6千円(同5500円)。

同大会について、蔵王温泉観光協会は「トレイルランニングは人気があり、各地から愛好者が集まると聞く。多くの宿泊客が見込める機会であり期待している。円滑な大会運営に協力したい」と話す。まちネットは今後、雪解けを待つてコース踏査など準備を進める。協力してくれるボランティアも募集している。大会概要はホームページで紹介。アドレスは<http://www.w.genki-machinet.com/wp/zao-trail/>